Panasonic

取扱説明書

保管用

灯具ユニット（一般屋内用）

品番 NDS15316B　NDS15316W

灯具ユニット	適合ユニットボックス	適合オプション	
NDS15316B	NDS99011 NDS99012 NDS99013	NDS85011（ミラー・狭角） NDS85012（ミラー・中角） NDS85013（ミラー・広角）	NDS95023B（フード） NDS95024　（グレアカットキャップ）
NDS15316W	NDS99014 NDS99015 NDS99016	NDS85011（ミラー・狭角） NDS85012（ミラー・中角） NDS85013（ミラー・広角）	NDS95023W（フード） NDS95024　（グレアカットキャップ）

・器具の取付けには電気工事士の資格が必要です。施工は必ず工事店に依頼してください。

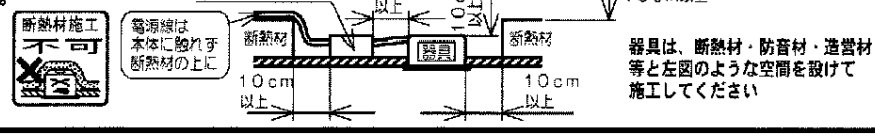
施工説明　**工事店様へ、この説明書は保守のためお客様に必ずお渡しください。**

安全に関するご注意

⚠ 危険

●直断熱材、防音材をかぶせた状態で使用しない。
火災の原因となります。

・住宅の断熱施工天井には、使用できません。



器具は、断熱材・防音材・造営材等と左図のような空間を設けて施工してください

⚠ 警告

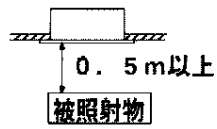
●施工は、取扱説明書にしたがい確実に行う。
施工に不備がありますと火災・感電・落下の原因となります。

●器具の改造および構成部品（ソケットなど）の交換をしない。
火災・感電・落下の原因になります。

●天井埋込専用なので、壁取付けや天井直付けおよび傾斜天井への取付けはしない。
火災・感電・落下の原因になります。

●表示された定格電圧（定格電圧±６％）・周波数で使用する。
指定外の電源電圧・周波数で使用すると、火災・感電・故障の原因となります。

●器具と被照射物は０．５m以上離す。
被照射物の変色・火災の原因となります。



●本体表示及び取扱説明書にしたがって、指定されたランプを使用する。
指定以外のランプを使用すると、火災の原因となります。

●適合の専用ダウントランス（別売）を使用する。
適合のダウントランス以外を使用すると、火災の原因となります。

●適合ミラー（別売）を使用する。
適合のミラー以外を使用すると、火災・落下の原因となります。

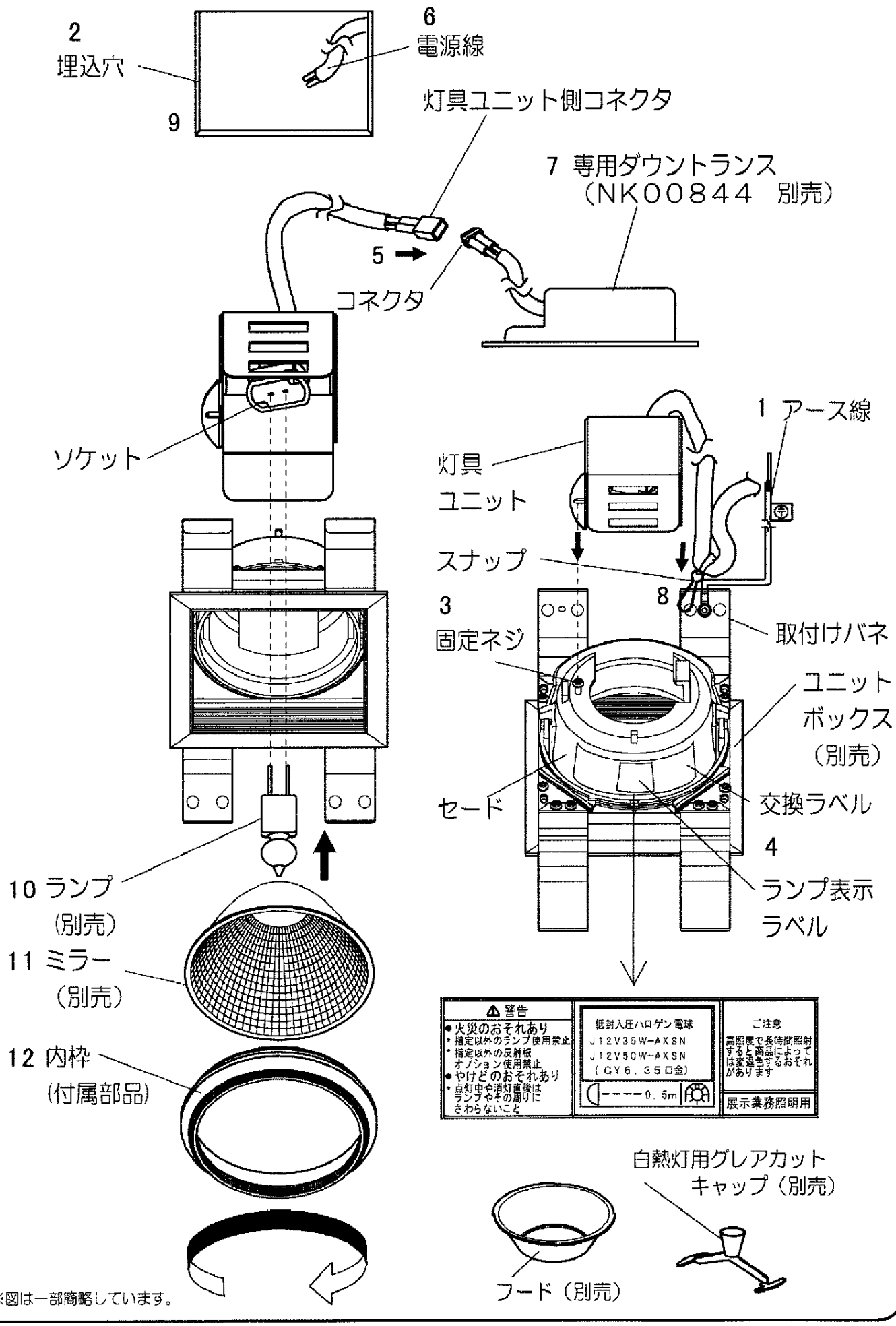
⚠ 注意

●直射日光の当たる場所、湿気の多い場所、振動のある場所、雨の吹き込みを受ける場所、腐食性ガスの発生する場所では使用しない。
火災・感電・落下の原因となります。

●周囲温度は、５℃～３５℃で使用する。
指定外の周囲温度で使用すると、火災の原因となります。

●音響やアンテナ、アース線と１m以上離す。
誤動作・雑音の原因となります。

各部のなまえと取付け方



※図は一部簡略しています。

1 取付け前の確認

・ユニットボックスのアース線を取り外す。
（セラメタプレミアSまたはCDM-Rの灯具ユニットと組み合わせる場合は
接地工事が必要なため、アース線を取り外さないでください。
また、取り外したアース線 は大切に保管してください。）
・器具質量に十分耐えるように、取付部の強度を確保する。
（器具質量はユニットボックスの取扱説明書を参照ください。）
不備がありますと天井の破損落下の原因となります。

2 天井に埋込穴をあける

（埋込穴サイズはユニットボックスの取扱説明書を参照ください。）

3 灯具ユニットを取付ける

・ユニットボックス（別売）のセードの固定ネジをゆるめて灯具ユニットを取付け、固定ネジを締める。
不備がありますと火災・落下の原因となります。

4 ランプ表示ラベルを貼り付ける

・添付のランプ表示ラベルをユニットボックスのセード表面の交換ラベル欄にランプ表示ラベルを貼り付ける。（左図を参照ください。）

5 適合する専用ダウントランス（別売）と接続する

・適合する専用ダウントランスを必ず使用し、専用ダウントランスのコネクタと灯具ユニット側コネクタを確実に差し込む。
注)リード線を切断したり別のリード線で延長しない。
不備がありますと火災・感電の原因となります。

6 電源線を専用ダウントランスに接続する

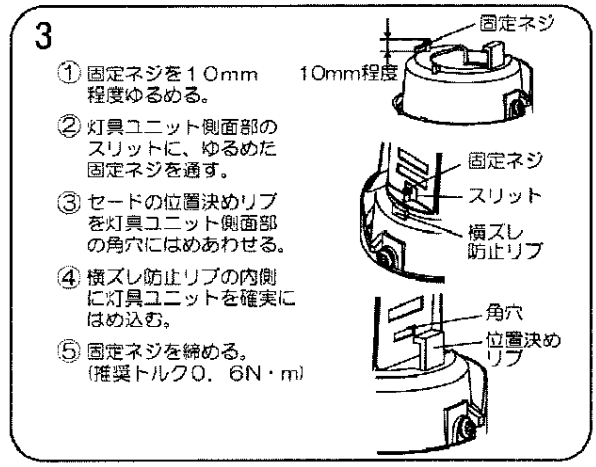
・専用ダウントランスの取扱説明書にしたがい、電源線を接続する。
接続が不完全な場合、火災・感電の原因となります。

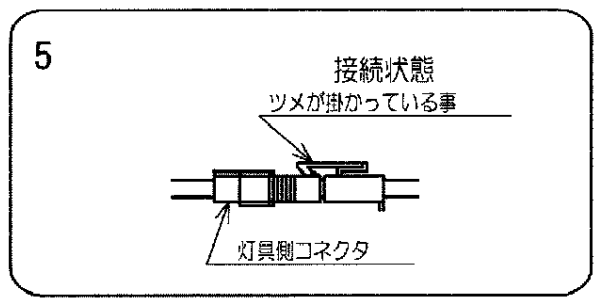
7 専用ダウントランスを設置する

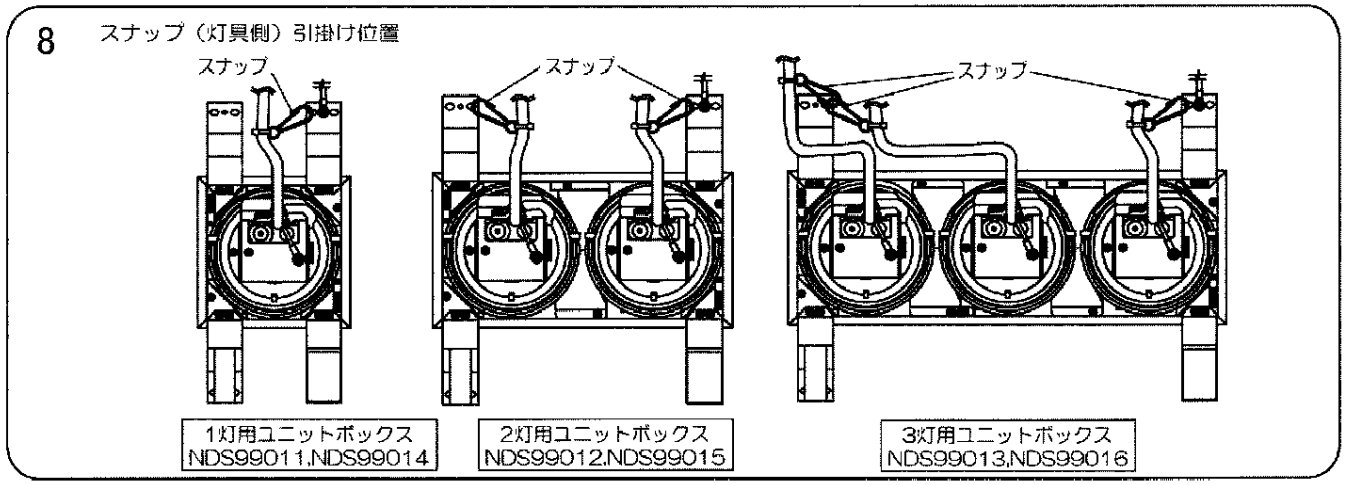
・専用ダウントランスを天井内の平らな所に横転・逆転しないよう設置する。
・不安定な場所や横転、逆転のおそれのある場所に設置する場合は、安定器をネジ（別途）で固定してください。
異常設置の場合、器具の故障の原因となります。

8 スナップ（灯具側）を取付けバネに取付ける

・灯具ユニットのスナップ（灯具側）をユニットボックスの取付けバネの穴に引掛ける。（引掛け位置については下図を参照ください）







9 埋込穴にユニットボックスを取付ける

① 灯具ユニットをスナップの付いている取付けバネの方向へ４５° 傾ける。
② スナップの付いている取付けバネ（２枚）を埋込穴（ダウントランスを設置している面側）に引掛ける。
③ ユニットボックスを矢印方向へ押し付けながら反対側の取付けバネを埋込穴に引掛ける。
④ ユニットボックスをゆっくりとまっすぐ押し上げて埋込穴に取付ける。
不備がありますと天井材損傷・器具落下の原因となります。
注）厚み５～２５mmの天井に取付け可能です。
注）ロックウール等、柔らかい天井には取りつけない。
天井材損傷・器具落下の原因となります。

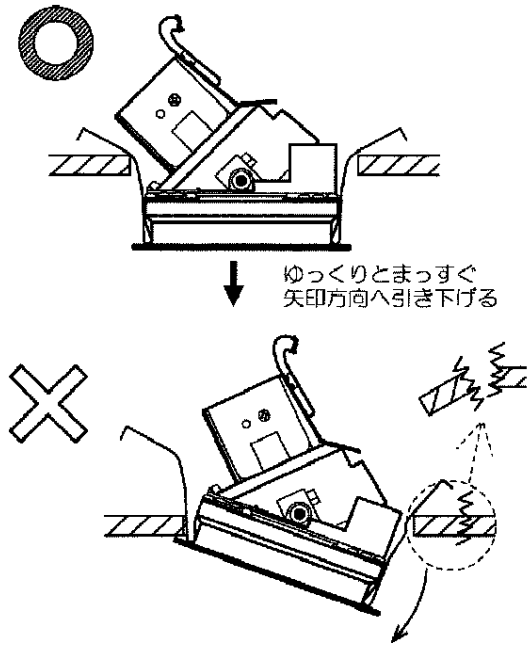
10 ランプを取付ける

注）ランプを素手で触らないでください。
・ランプ（別売）を最後まで確実にソケットに差し込んでください。
不備がある場合、火災・落下の原因となります。

11 内枠にミラーを取付ける

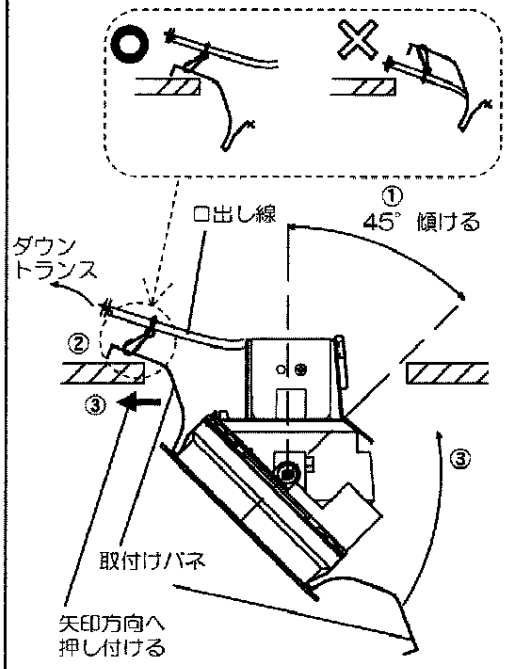
・内枠（付属品）にミラー（別売）をのせて、固定バネ取付け溝に固定バネを取付けて固定する。
（グレアカットキャップ、フードを取付ける場合は、ミラーより先にのせてください。詳細はグレアカットキャップ、フードの取扱説明書を参照ください。）

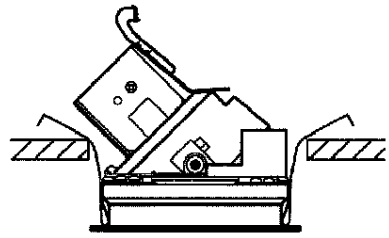
ユニットボックスを天井材から取り外す場合



9

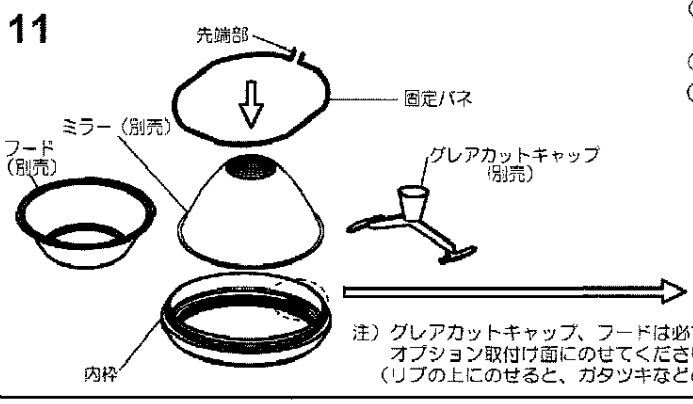
・口出し線が取付けバネの上になるように
して引掛ける



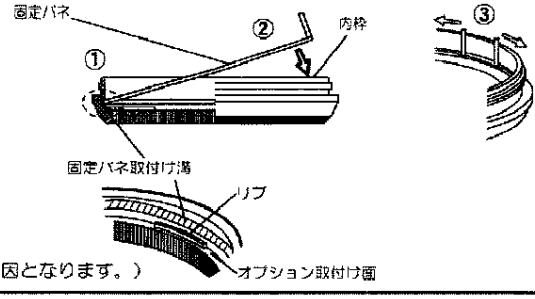


④ ゆっくりとまっすぐ
矢印方向へ押し上げる

11



① 固定バネの先端部をつまみ、先端部の反対側から固定バネ取付け溝へはめ込む。
② 固定バネを矢印方向へ押し込む。
③ 固定バネを矢印方向へ広げて固定バネ取付け溝に確実にはめ込む。



注）グレアカットキャップ、フードは必ず
オプション取付け面にのせてください。
（リブの上にのせると、ガタツキなどの原因となります。）

12 内枠をセードに取付ける

・内枠を時計回りに回転させてセードに取付ける。
不備がある場合、落下の原因となります。

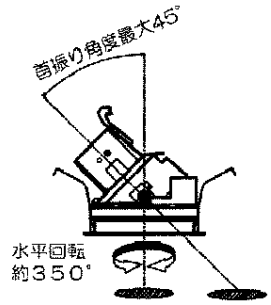
13 照射方向を調整する

・セードを水平回転および首振り角度をつけて照射方向を調整する。
不備がある場合、落下の原因となります。

⚠ 注意

やけどのおそれあり
点灯直後は高温になるので手袋等を使用して調整すること。

13 ・点灯直後に調整を行ってください。
注)灯具ユニット同士が干渉して照射角度45°にできない範囲があります。



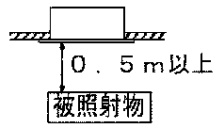
取扱説明　**お客様へ、この説明書は必ず保管してください。**

・ご使用前にこの取扱説明書を必ずお読みのうえ、正しくお使いください。

安全に関するご注意

⚠ 警告

●器具の改造および構成部品（ソケットなど）の交換をしない。　火災・感電・落下の原因となります。
●異常を感じたら速やかに電源を切り、販売店・電気工事店に相談する。　火災・感電の原因となります。
●布や紙などの燃えやすいもので覆ったり、かぶせたりしない。　火災の原因となります。
●器具と被照射物の距離は、0．5m以上離す。　被照射物の変色・火災の原因となります。
●本体表示および取扱説明書にしたがって、指定されたランプを使用する。
指定以外のランプを使用すると、火災の原因となります。



⚠ 注意

※
●照明器具には寿命があります。設置して10年経つと、外観に異常がなくても内部の劣化は進行しています。点検・交換してください。
※使用条件は周囲温度30℃、1日10時間点灯です。
・周囲温度が高い場合・点灯時間が長い場合などは寿命は短くなります。
・1年に1回は「安全チェックシート」に基づき自主点検してください。
3年に1回は工事店等の専門家による点検をお受けください。
点検せずに長期間使い続けるとまれに落下・感電・火災などに至る場合があります。
●ランプ交換やお手入れの際は、必ず電源を切って、ランプやその周辺が冷めてから行う。やけど・感電の原因となります。
●周囲温度は、5℃～35℃で、使用する。指定外の周囲温度で使用すると、火災の原因となります。

使用上のご注意

●光の影響を受けやすい商品（毛皮・呉服・絵画等）には長時間照射しないでください。変色・退色の原因となります。
●ラジオ・テレビや赤外線リモコン方式の機器は照明器具から離してご使用ください。
雑音が入ったり正常に動作しない場合があります。
●同時通訳器等の誘導無線をご使用になられる場合、雑音が入る場合があります。
事前に確認し、対策を講じてください。

保証について

1：保証について
この商品の保証期間は1年間です。
但し、ランプ等の消耗品は除きます。詳細は弊社カタログをご参照ください。

2：保証書について
保証書が必要な場合は、弊社代理店または弊社営業所へお申し出ください。

3：補修用性能部品（電気部品）の保有期間
弊社はこの照明器具の補修用性能部品（電気部品）を製造打ち切り後、6年間保有しています。
性能部品とは、その製品を維持するために必要な部品です。
補修用性能部品には、同等機能を有する代替品を含みます。

お手入れ・ランプ交換　⚠注意 必ず電源を切ってから行ってください。感電・やけどの原因となります。

●**器具の清掃について**・・・・・・・水または中性洗剤を用いて、汚れた部分を軽く拭き取ってください。
シンナー、ベンジン、アルカリ系洗剤で拭かないでください。
変色・変質、強度低下による破損の原因となります。
・器具を丸ごと水洗いするのは絶対にしないでください。
感電や故障の原因となります。

●**ランプ交換について**・・・・・・・本体表示にしたがって下記に指定されたランプを使用してください。

⚠警告 指定以外のランプを使用すると火災の原因となります。

適合ランプ（指定）
J12V35W-AXSN J12V50W-AXSN （GY6．35口金）

高温注意

・ランプの差し込みが不十分な場合、落下・故障の原因となります。

・ランプを交換後も点灯しない場合は、安全のために安定器が動作停止していることがあります。
電源を一旦切ってから再度電源を入れなおしてください。

ランプ交換方法

①内枠を反時計回りに回転して外す。
②ランプ交換する。
差し込みが不十分な場合、落下・故障の原因となります。
③内枠を時計回りに回転して取付ける。
取付けが不十分な場合、落下の原因となります。

⚠注意
やけどのおそれあり
点灯中や消灯直後はランプやその周りにさわらないこと。

パナソニック株式会社　施設・店舗照明ビジネスユニット　〒571−8686　大阪府門真市門真1048
お問い合わせ先　パナソニックお客様ご相談センター　0120−878−365（フリーダイヤル）　0120−878−236（FAX）
M0708-040112